



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場会社名 イビデン株式会社  
 コード番号 4062 URL <http://www.ibiden.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

(氏名) 竹中 裕紀

(氏名) 佐野 尚

TEL 0584-81-3111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	192,107	△19.7	3,297	△82.8	△1,781	—	△59,321	—
28年3月期第3四半期	239,273	2.0	19,169	△2.2	20,788	△18.7	17,669	11.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △58,769百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 13,649百万円 (△69.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	△445.75	—
28年3月期第3四半期	128.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第3四半期	428,976	268,076	61.5	1,981.50
28年3月期	476,110	331,520	68.8	2,459.63

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 263,698百万円 28年3月期 327,333百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
29年3月期	—	15.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	265,000	△15.6	5,000	△77.8	100	△99.5	△63,500	—	△477.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	140,860,557 株	28年3月期	140,860,557 株
29年3月期3Q	7,780,245 株	28年3月期	7,778,279 株
29年3月期3Q	133,081,382 株	28年3月期3Q	137,252,080 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、堅調な米国経済及び欧州経済に支えられ、全体としては緩やかに成長しましたが、中国、新興国経済の先行きの不透明感や、米国及び欧州の政策の不確実性への懸念が高まっています。国内経済は、企業収益の改善に足踏みが見られたものの、個人消費や輸出に持ち直しの動きが見られ、総じて緩やかな回復基調をたどりました。

半導体・電子部品業界のスマートフォン・タブレット市場は、全体としては緩やかに成長しましたが、ハイエンド製品市場の成長が鈍化傾向にあります。また、パソコン市場は、前年対比でマイナス成長が続いており、当社の電子事業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、データセンター・IoT・車載等、新たな成長分野に向けた開発や新製品の提案が活発に行われております。

自動車業界の排気系部品市場は、欧州及び中国の自動車市場の緩やかな成長による世界的に底堅い自動車販売が継続したことにより、堅調に推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは第2四半期より、電子事業における受注環境の変化を受け、一旦、資産の価値を現状の受注に合わせるため、固定資産の減損を主とした事業構造改革を実施しております。同時に、電子事業の収益回復に向け、新たな成長分野における受注拡大に積極的に取り組んでおります。併せて、当社グループは中期経営計画において、事業環境の変化に対応し、次の100年に向けて、永続的に事業を継続し成長させるための、人財育成に主眼を置いた企業体質づくりに取り組んでおります。また、電子事業以外に、セラミック事業及びその他事業を合わせた、3つのセグメントによる安定的な収益構造の実現を目指した各事業の競争力強化の活動に取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,921億7百万円と前年同期に比べ471億65百万円(19.7%)減少しました。営業利益は32億97百万円と前年同期に比べ158億71百万円(82.8%)減少しました。経常損失は17億81百万円(前年同期は207億88百万円の経常利益)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失に関しましては593億21百万円(前年同期は176億69百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

#### 電子事業

パソコン市場の低迷継続及びスマートフォン・タブレット市場の成長鈍化に伴う企業間競争の激化に加えて、一部のハイエンド製品においてファンアウトウエハーレベルパッケージ(FO-WLP)が採用されたことにより、電子事業の売上高は742億15百万円となり、前年同期に比べ37.4%減少しました。同事業の営業損失は30億86百万円(前年同期は115億1百万円の営業利益)となりました。収益回復に向け、今後の成長が見込まれる分野に対して、これまでパソコンやスマートフォン・タブレット市場で培ってきた薄型高密度化技術・品質・開発力をもって、積極的に新製品開発に着手しております。

#### セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)及び触媒担体保持・シール材(AFP)は、自動車市場が堅調に推移したことにより受注数量は増加しましたが、商品構成の変化及び販売価格の下落により、両事業合計の売上高は、前年同期に比べ減少しました。

NO<sub>x</sub>浄化用触媒担体(SCR)は、エネルギー関連向けの定置式用途製品が堅調に推移したものの、円高及びその他用途向け製品の販売が低調に推移したことにより、前年同期に比べて売上高は減少しました。

特殊炭素製品(FGM)は、引き続き厳しい市場環境のなか、拡販に努めたことにより、前年同期並みの売上高を確保しました。

以上により、セラミック事業の売上高は734億80百万円となり、前年同期に比べ6.8%減少しました。同事業の営業利益は、主力であるDPFの商品構成の変化及び販売価格の下落等により、23億50百万円となり、前年同期に比べ45.6%減少しました。

#### その他事業

化粧板関連販売部門は、引き続き住宅向けキッチン加工扉の市場回復力が乏しかったものの、トイレブース向け

メラミン化粧板及び不燃化粧板の拡販に努め、売上高は前年同期並みとなりました。

住宅設備機器販売部門は、コンポーネント住宅の上棟数が増加したものの、賃貸住宅関係の販売減少により、前年同期に比べ売上高は減少しました。

法面工事部門は、上期完成予定の工事が第3四半期にずれたことにより、前年同期に比べ売上高は増加しました。

造園工事部門は、前年度からの繰越工事の減少により、前年同期と比べ売上高は減少しました。

石油製品販売部門は、販売数量の増加と、原油価格の上昇により、前年同期に比べ売上高は増加しました。

合成樹脂加工部門は、熊本地震による自動車市場への影響があったものの、一部新車種向けが好調に推移したことにより、前年同期に比べ売上高は増加しました。

以上により、その他事業の売上高は444億11百万円となり、前年同期に比べ6.2%増加しました。同事業の営業利益は、東横山水力発電所の改修工事完了に伴う電力事業の増益もあったことにより41億75百万円となり、前年同期に比べ28.7%増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ471億34百万円減少しました。主に有形固定資産が536億36百万円、受取手形及び売掛金が37億72百万円、有価証券が31億99百万円それぞれ減少しました。

負債では主に事業構造改革費用引当金が122億54百万円、長期借入金が99億52百万円それぞれ増加しました。また純資産は、利益剰余金及び為替換算調整勘定が減少したことなどにより、634億44百万円減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想については、平成28年11月1日に公表しました、通期の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(平成29年2月3日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	104,765	112,091
受取手形及び売掛金	57,578	53,806
有価証券	3,199	—
商品及び製品	12,758	12,454
仕掛品	9,900	9,774
原材料及び貯蔵品	14,445	16,342
繰延税金資産	2,211	2,224
その他	9,043	9,025
貸倒引当金	△290	△293
流動資産合計	213,612	215,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	87,738	75,733
機械装置及び運搬具（純額）	86,293	56,326
土地	19,143	19,095
リース資産（純額）	146	112
建設仮勘定	16,825	6,226
その他（純額）	5,780	4,797
有形固定資産合計	215,928	162,291
無形固定資産		
投資その他の資産	5,168	3,987
投資有価証券	39,060	45,429
長期貸付金	39	44
繰延税金資産	679	391
その他	1,935	1,724
貸倒引当金	△313	△317
投資その他の資産合計	41,401	47,272
固定資産合計	262,498	213,551
資産合計	476,110	428,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,668	32,688
短期借入金	30,065	30,065
1年内償還予定の社債	15,000	-
未払金	15,405	9,183
未払法人税等	1,715	834
繰延税金負債	1	17
賞与引当金	3,507	1,416
役員賞与引当金	69	-
事業構造改革費用引当金	-	12,254
設備関係支払手形	1,560	1,317
その他	11,750	16,239
流動負債合計	113,743	104,017
固定負債		
社債	25,000	40,000
長期借入金	62	10,015
リース債務	101	103
再評価に係る繰延税金負債	68	68
退職給付に係る負債	464	450
繰延税金負債	3,683	4,730
その他	1,465	1,512
固定負債合計	30,845	56,881
負債合計	144,589	160,899
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,579	64,579
利益剰余金	188,598	124,619
自己株式	△18,302	△18,304
株主資本合計	299,028	235,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,477	16,963
繰延ヘッジ損益	197	163
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	15,469	11,364
その他の包括利益累計額合計	28,304	28,651
非支配株主持分	4,187	4,378
純資産合計	331,520	268,076
負債純資産合計	476,110	428,976



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	239,273	192,107
売上原価	180,147	152,268
売上総利益	59,125	39,839
販売費及び一般管理費	39,956	36,541
営業利益	19,169	3,297
営業外収益		
受取利息	210	273
受取配当金	868	1,121
為替差益	1,550	-
その他	1,141	636
営業外収益合計	3,770	2,031
営業外費用		
支払利息	236	145
為替差損	-	1,905
休止固定資産減価償却費	1,173	4,267
その他	741	791
営業外費用合計	2,151	7,109
経常利益又は経常損失(△)	20,788	△1,781
特別利益		
固定資産売却益	13	198
投資有価証券売却益	2,193	-
関係会社清算益	344	-
その他	26	20
特別利益合計	2,578	218
特別損失		
固定資産除却損	2,591	435
減損損失	89	6
投資有価証券評価損	1	-
関係会社整理損	6	-
事業構造改革費用	-	56,096
その他	45	248
特別損失合計	2,733	56,786
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	20,633	△58,347
法人税等	5,150	796
過年度法人税等	△2,350	-
法人税等合計	2,799	796
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,833	△59,144
非支配株主に帰属する四半期純利益	164	176
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	17,669	△59,321

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,833	△59,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,638	4,514
繰延ヘッジ損益	154	△34
為替換算調整勘定	△1,700	△4,105
その他の包括利益合計	△4,184	375
四半期包括利益	13,649	△58,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,506	△58,974
非支配株主に係る四半期包括利益	143	205

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への売上高	118,607	78,856	197,464	41,808	239,273	—	239,273
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	112	134	6,180	6,315	△6,315	—
計	118,630	78,969	197,599	47,989	245,589	△6,315	239,273
セグメント利益	11,501	4,319	15,820	3,243	19,063	105	19,169

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、建設、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 105百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,215	73,480	147,695	44,411	192,107	-	192,107
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	88	92	3,564	3,657	△3,657	-
計	74,218	73,569	147,787	47,976	195,764	△3,657	192,107
セグメント利益又は損失(△)	△3,086	2,350	△735	4,175	3,439	△142	3,297

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、建設、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額 △142百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

電子セグメントの事業構造改革に伴い、生産設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては37,624万円であります。

報告セグメントに帰属しない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減損しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、3,701百万円であります。

(重要な後発事象)

特記すべき事項はありません。